

チアーズスタイル磨く

富士鉱油 グループ 総合防災訓練を実施

富士鉱油(本社・東京、園木章夫社長)グループの

杉並産業(東京)は六月二

十七日、東京・足立区堀ノ

内の本社敷地内で全員参加

型の総合防災訓練を行っ

た。防災に対する意識とス

キルアップを目的に毎年実

施しており、今年は①地震

発生にともなう設備損傷・

火災を想定した消火復旧訓

練②地元消防署の指導によ

る消火器取り扱い③緊急通

報、救命救急、AED(自

動体外式除細動器)操作

などを行った。

総合訓練は前年と同様に

「地震発生により、LPGガ

ス貯槽のドレンバルブ先端

の盲フランジ部から少量の

ガスが漏洩し、静電気着火

した」との想定で開始し

た。LPG車や天然ガス

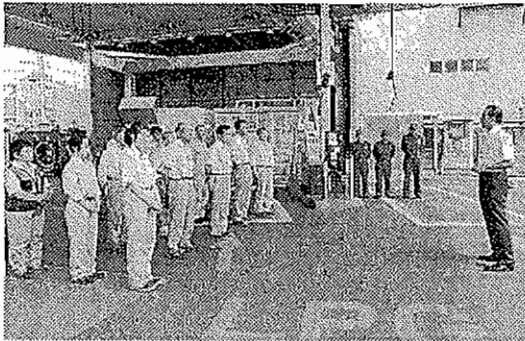
(CNG)車の進入をス

トップした上で、前田邦威

所長ら十七人の社員が消

火、連絡、修理、警戒の各

班に分かれて行った。



園木社長は「愚直なまでに最善の努力」を要請した

各担当者に
はあらかじ
め、取るべき
措置行動、注
意事項を具体
的に示し、迅
速的確に行
えるよう指
導・訓練して
おり、今回は
より実践に近
いものとする
ために消火器
は実際に噴

射。さらに、確実に消火す
るため、放水停止後も放水
を続けた。
一方、消火器の取り扱い
訓練では、消防署員から
「レバーは固いので、女性
は地面に降りし操作すると
ラク」「さびが浮き出た古
い消火器は破裂に注意し
て」などとアドバイスを受
け、通報訓練では「救急態
勢が違ってくるので、火災
の内容は具体的に伝える」
「住所は目標のほか、番地
まで伝えると消防活動がス
ムーズになる」と学んだ。
昨年から取り入れたAED
D操作訓練(杉並産業は構
内にAEDを常備)では、
消防署員の模範演技に続い
て参加者が順次体験した。
防災訓練に先立ち、園木



AED操作訓練を行う社員

社長は「この地で営業を開
始して三十五年が経過し
た。富士鉱油グループのC
NGスタンドはこの八年間
で八カ所に拡大している。
これはグループ挙げた保安
体制、豊富な経験と知識、
確かな技術力、心を込めた
接客サービスなどに評価を
いただいた結果だと思っ
とあいさつ。
その上で、「サービス水
準はまだ改善すべき点も少
なくないが、安全に対する
姿勢はお客さまからも高く
評価されている。今後とも
お客様に安全安心を提供
する」というチアーズスタ
イルの精神に徹し、安全操
業に努めてほしい。特に
今日の安全は明日の安全
を約束するものではない」

と肝に銘じ、愚直なまでに
安全確保のために最善の努
力を続けてほしい」と呼び
かけた。

草地好和・富士鉱油専務、
中村文雄・東京消防庁西新
井消防署上沼田出張所所
長、大井誠・富士鉱油保安
推進室長の講評があった。